

決算審査特別委員会会議録

会議年月日	令和3年9月1日（火）		
開 会	午前10時30分	閉 会	午前10時51分
場 所	本会議場		
出席委員 (30名)	委員長 長坂 則翁 副委員長 前田 伸一 委 員 加嶋 辰史 金田 靖典 荻野 正己 浅野 博文 加藤 茂樹 朝野 和隆 雲坂 衛 吉野 恭介 足立 考史 太田 縁 岩永 安子 石田憲太郎 勝田 鮮二 米村 京子 星見 健蔵 魚崎 勇 横山 明 西村紳一郎 岡田 信俊 吉田 博幸 伊藤 幾子 平野真理子 椋田 昇一 秋山 智博 寺坂 寛夫 砂田 典男 山田 延孝 上杉 栄一		
欠席委員	田村 繁巳		
委員外議員	なし		
事務局職員	局 長 森山 武 局 次 長 植田 光一 局 長 補 佐 米田亜希子 主査兼議事係長 毛利 元 調 査 係 長 中川 真理 庶 務 係 主 査 石田久美子 議 事 係 主 任 萩原真知子 議 事 係 主 任 橋本 圭司 議 事 係 主 事 田中 真一		
出席説明員	なし		
傍 聴 者	3名		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午前10時30分 開会

開会、委員長の互選

◆山田延孝委員 ただいまから、決算審査特別委員会を開会いたします。

本日は、特別委員会設置後、初めての委員会でありますので、委員長が互選されるまで年長の私が、委員長の職務を行います。

始めに欠席委員についてご報告いたします。田村繁巳委員より、病気療養のため、本日の委員会を特別委員会を欠席する旨の申し届出がありましたので、ご報告いたします。

これより、委員長の互選を行います。委員長の互選については、会議規則第126条第1項の規定により投票で行います。この投票は、会議規則第126条及び第127条の規定により行われます。

この際、お諮りいたします。会議規則第127条のうち、立会人を置く規定は、このたび準用しないこととしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」）

◆山田延孝委員 御異議なしと認め、そのように決定しました。

なお、この投票には委員長の職務を行っている者にも投票権がありますので申し添えます。

それでは、これより投票により委員長の選出を行います。

議場の出入口を閉鎖します。

〔議場閉鎖〕

◆山田延孝委員 ただいまの出席委員数は30名であります。

投票用紙を配付させます。

〔投票用紙配付〕

◆山田延孝委員 投票用紙の配付漏れはありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆山田延孝委員 配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検します。

〔投票箱点検〕

◆山田延孝委員 異常なしと認めます。

それでは、投票用紙に単記無記名で記入の上、前列加嶋委員より順次投票願います。

〔各委員順次投票〕

◆山田延孝委員 投票漏れはありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆山田延孝委員 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の出入口を開きます。

〔議場開鎖〕

◆山田延孝委員 開票を行います。

〔開票〕

◆山田延孝委員 結果を御報告いたします。

投票総数30票、これは先ほどの出席委員数に符合いたしております。

そのうち有効投票30票、無効投票ゼロ票、有効投票中、長坂則翁委員30票。以上のとおりであります。

したがって、長坂則翁委員が委員長に当選されました。

それでは、就任の御挨拶をお願いいたします。

〔長坂則翁委員長登壇〕

◆長坂則翁委員長 ただいま決算審査特別委員会の委員長に選任をいただきました長坂則翁でございます。

今、全国的に地方の都市は、人口が減少いたしております。鳥取市も平成16年11月に合併した時点では20万人を超えていた人口も、直近のデータでは18万4,989名まで人口が減少しております。本当に人口増加に向けた移住定住はもちろんのこと、私は何と云っても若者が

県外へ流出しない、そのためにも、企業誘致も極めて重要な課題である。このように認識をいたしておるところでございます。鳥取市政、様々な課題がございますけれども、子育て支援あるいは防災の関係、教育問題がございますけれども、多くの課題がある中で、この決算審査特別委員会が開かれるわけでございます。令和2年度予算の執行結果、あるいは事業結果について、審査をしていただく極めて重要な委員会であります。委員各位の十分なる審査をお願いしますとともに、この決算審査特別委員会が無事に終わられますことを、委員各位にお願いを申し上げまして、意を尽くしませんけれども、委員長就任の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

（拍手）

◆山田延孝委員 以上で私の職務を終え、委員長と交代します。

〔山田延孝委員 自席、長坂則翁委員長 委員長席〕

副委員長の互選

◆長坂則翁委員長 これより、副委員長の互選を行います。副委員長の互選については、会議規則第126条第1項の規定により投票で行います。この投票は、会議規則第126条及び第127条の規定により行われます。

この際、お諮りします。会議規則第127条のうち、立会人を置く規定は、このたび準用しないこととしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆長坂則翁委員長 御異議なしと認め、そのように決定しました。

なお、この投票には委員長にも投票権がありますので申し添えます。

それでは、これより投票により副委員長の選出を行います。

議場の出入口を閉鎖します。

〔議場閉鎖〕

◆長坂則翁委員長 ただいまの出席委員数は30名であります。

投票用紙を配付させます。

〔投票用紙配付〕

◆長坂則翁委員長 投票用紙の配付漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆長坂則翁委員長 配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検します。

〔投票箱点検〕

◆長坂則翁委員長 異常なしと認めます。

それでは、投票用紙に単記無記名で記入の上、前列加嶋委員より順次投票願います。

〔各委員順次投票〕

◆長坂則翁委員長 投票漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- ◆長坂則翁委員長 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の出入口を開きます。

〔議場開鎖〕

- ◆長坂則翁委員長 開票を行います。

〔開票〕

- ◆長坂則翁委員長 結果を御報告いたします。

投票総数 30 票、これは先ほどの出席委員数に符合いたしております。

そのうち有効投票 30 票、無効投票ゼロ票、有効投票中、前田伸一委員 30 票。以上のとおりであります。

したがって、前田伸一委員が副委員長に当選されました。それでは、就任の御挨拶をお願いいたします。

〔前田伸一副委員長 登壇〕

- ◆前田伸一副委員長 先ほどの選挙で、決算審査特別委員会の副委員長に選出されました前田伸一でございます。

大切な決算審査が充実した審査ができるよう、そして円滑な審議がなされるよう、尽力したいと思います。委員長を補佐し、しっかり取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。委員の皆様の御協力をよろしく願いいたします。以上です。

（拍手）

〔前田伸一副委員長 副委員長席〕

分科会の設置及び審査区分について

- ◆長坂則翁委員長 続きまして、分科会の設置及び審査区分についてお諮りしたいと思います。審査のため、5つの分科会を設置し、分科会の審査区分については、お手元に配付のとおりとしたいと思います。御異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- ◆長坂則翁委員長 御異議なしと認めます。したがって、そのように決定しました。

分科員の選任

- ◆長坂則翁委員長 続きまして、分科員の選任を行います。分科員の選任につきましては、委員長において指名したいと思います。御異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- ◆長坂則翁委員長 御異議なしと認め、そのように決定しました。分科員につきましては、お手元に配付のとおり指名します。

分科会長、分科副会長の選任

- ◆長坂則翁委員長 次に、分科会の会長及び副会長の選任を行います。本件につきましては、委

員長が指名したいと思いますが、御異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆長坂則翁委員長 御異議なしと認め、そのように決定しました。

総務企画分科会は会長に吉野恭介委員、副会長に伊藤幾子委員、福祉保健分科会は会長に椋田昇一委員、副会長に浅野博文委員、文教経済分科会は会長に田村繁巳委員、副会長に朝野和隆委員、建設水道分科会は会長に雲坂衛委員、副会長に勝田鮮二委員、本庁舎跡地等活用分科会は会長に岡田信俊委員、副会長に勝田鮮二委員をそれぞれ指名いたします。

以上で、本日の日程は終了しました。

本日はこれで終了とします。

午前10時51分 閉会

決算審査特別委員会

日 時 令和3年9月1日（水）
本会議終了後
場 所 議場

日 程

- 1 開 会
- 2 委員長の互選
- 3 副委員長の互選
- 4 分科会の設置及び審査区分について
- 5 分科員の選任
- 6 分科会長、分科副会長の選任
- 7 閉 会